

事業報告書（学術局専門領域部 運動器系専門部会）

事業名称	運動器系専門部会 研修会Ⅲ	開催日	2025/11/24
開催場所	WEB	開催時間	9:00～12:20
参加者	参加者 63名（県内会員43名、県外会員18名、会員外2名）		

【活動内容】

■運動器専門部会セミナー 開催報告（WEB開催）

2025年11月24日、運動器専門部会セミナーをWEB形式で開催し、錦野クリニックの青山倫久先生を講師にお迎えして、「FAISを中心とした股関節疾患の医学的介入と理学療法」についてご講演いただきました。

大腿骨寛骨臼インピンジメント症候群（FAIS：Femoroacetabular Impingement Syndrome）の基礎から、評価、保存療法、手術介入、術後リハビリテーションまで、最新のエビデンスを踏まえた幅広い内容で、臨床に直結する学びの多い研修会となりました。

当日は参加者から多くの質問が寄せられ、FAISに対する臨床的関心の高さがうかがえました。

今後も運動器系専門部会では、地域の理学療法士の臨床に役立つ研修会を継続して企画してまいります。

末筆ながら、運動器系専門部会研修会を実施するにあたり、ご講義をいただきました青山倫久先生、ご協力いただいた関係者の皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

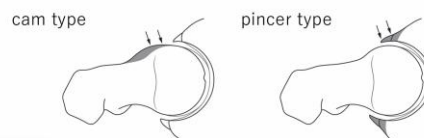
【活動風景】



Femoroacetabular Impingementとは

寛骨臼縁と大腿骨頸部が衝突を繰り返すことで骨形態異常を生じ、関節唇や軟骨を損傷させる現象

Ganz R. Clin Orthop Relat Res 2003



大腿骨寛骨臼インピンジメント（FAI）の診断について（日本股関節学会指針） Hip Joint 2015

FAISに対する保存療法

Nonoperative Management of Femoroacetabular Impingement

A Prospective Study

Andrew T. Pienkowski,^{1,18} MD, James D. Borneo,⁷ MPH, Kristine P. Johnson,¹¹ ATC, CPA-C, Kelly Randich,¹² DPT, and Maysa M. Uppesha,¹³ MD
Investigator performed at Rady Children's Hospital, San Diego, California, USA

93例（平均15.3歳・罹患期間10.7ヶ月）

Cam type：27例
Pincer type：30例
Combined：36例

Rest 69.9%
Activity Modification 11.8%
理学療法

✓ core stability Ex
✓ 過屈曲・過内旋を避けた stretch

injection 11.8%

arthroscopic surgery 18.3%

	n	Spontaneous	%
Treatment (P = .364)			
Activity modification (n = 64)	43	67	
Injection (n = 10)	8	80	
Arthroscopic surgery (n = 13)	11	85	
FAI (P = .015)			
Cam (n = 26)	22	85	
Pincer (n = 29)	15	52	
Combined (n = 32)	25	78	

Pienkowski AT. Am J Sports Med 2018



FAI Syndromeの手術適応

- I. メカニカルストレスで再現可能な股関節痛があり3ヶ月の保存療法に抵抗する
- II. インピンジメントを示唆する所見や可動域制限がある
- III. レントゲン・CTによる画像所見をみると、いずれのviewでも3mm以内の裂隙狭小化がない

Mei-Dan O. Arthroscopy 2014

- IV. 関節内へのリドカインテストで疼痛軽減をみとめる

Kraeutler MJ. JBJS Am 2018

- ✓ 大きな Cam morphology がある
- ✓ 活動レベルの高いアスリートで早期復帰を希望している

